

公開シンポジウム2014

「ここまできた！肉腫（サルコーマ）薬物治療の最前線」開催のお知らせ

時下増々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

この度添付のポスターの要領で、肉腫（サルコーマ）についての公開シンポジウム（学術講演会）を企画させていただきましたのでご案内申し上げます。

このシンポジウムは、希少がん治療のモデルとして、私どもが2011年から3年間にわたって試行を進めてまいりました、各施設が最も得意とする治療技術の一つ提供して連携する“水平”分業型の肉腫共同治療連携の成果を発表させていただくもので、血管新生阻害の新規分子標的薬パゾパニブのセッションでは、腫瘍内科を中心に100例以上の肉腫症例について発表が行われる予定です。

また、稀少がんと言われる肉腫でも集約化すれば豊富な症例数を確保できることが明らかになり（2011年と12年の2年間の実績で45都道府県の233施設から377症例のご紹介をいただきました）、その成果を応用した最初の臨床研究プロジェクトとして、2014年から5大がんと同じようなレベルで全ゲノム、エキソーム解析を開始する運びとなりました。上皮に由来する癌の間葉系転換やがん幹細胞は、癌の“肉腫化”とも考えられ、これまでブラックボックスであった肉腫のゲノム解析により癌の治療にも応用可能な成果が得られることを期待しています。

肉腫の新しい薬物治療やゲノム解析研究に興味のある皆様にご参加いただきますようご案内を申し上げます。

記

日時 平成26年3月21日（金）春分の日 11時～17時45分
場所 東京コンベンションホール大ホール B、東京スクエアガーデン5階
東京都中央区京橋三丁目1-1、（東京駅八重洲南口より徒歩6分）
参加費 2000円（ランチョンセミナーのお弁当と飲み物の実費費用です）
参加申し込み 3月7日（金）までに電子メール（curesarcoma-c@smtrc.org）または FAX
（06-6972-7749）でシンポジウム事務局宛てにお申込みください。

シンポジウム事務局；大阪府立成人病センター、研究所病態生理学部門内

〒537-8511大阪市東成区中道1丁目3の3

Tel# 06-6972-1181（内線4206）、

E-mail; takahasi-ka@mc.pref.osaka.jp（代表；高橋克仁）